



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 東京製綱株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5981 URL <http://www.tokyorope.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田英幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 喜旦康司 (TEL) 03-6366-7777  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,926	13.3	746	—	962	470.9	746	382.7
2022年3月期第1四半期	14,055	12.7	67	—	168	—	154	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,309百万円(23.2%) 2022年3月期第1四半期 1,062百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	46.29	—
2022年3月期第1四半期	9.60	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	85,038	27,130	31.2
2022年3月期	83,725	26,145	30.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 26,559百万円 2022年3月期 25,502百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	67,000	5.0	2,500	54.2	2,700	33.5	1,900	45.4
								117.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	16,268,242株	2022年3月期	16,268,242株
2023年3月期1Q	145,688株	2022年3月期	145,585株
2023年3月期1Q	16,122,598株	2022年3月期1Q	16,108,916株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が所有する当社株式(2023年3月期1Q:130,200株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、国内防災・道路安全施設や北米CFCC事業など開発製品関連が好調に推移したことに加えて、諸資材・エネルギー価格高騰を受け、前年度から進めている製品価格改定の効果や為替の影響などにより、15,926百万円（前年同期比13.3%増）と増加いたしました。

利益面においては、開発製品関連の売上増加や為替の影響などにより前年同期からは大きく改善し、営業利益は746百万円（前年同期比1,011.1%増）、経常利益は962百万円（前年同期比470.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は746百万円（前年同期比382.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### (鋼索鋼線関連)

近年の諸資材・燃料並びに運送費等の値上げに伴うコストアップに対して、マージンの適性化を図るべく、製品価格の改定を段階的に実施してまいりました。その改善効果の発現と、陸上・水産関連など繊維ロープの販売が堅調に推移した結果、当事業の売上高は6,385百万円（前年同期比3.8%増）となり、また、繊維ロープ関連の高付加価値製品の売上が当四半期に集中したことにより、営業利益は485百万円（前年同期比54.1%増）となりました。

#### (スチールコード関連)

主に前年度から進めている製品価格改定や輸出品の為替影響により、当事業の売上高は2,424百万円（前年同期比19.2%増）と増加し、営業損失は178百万円（前年同期は230百万円の営業損失）と損失が圧縮されました。

#### (開発製品関連)

国内防災・道路安全施設関連が前期からの繰越案件消化もあり好調に推移したほか、継続中の北米大型プロジェクト対応等で海外CFCC事業の売上が増加したことなどにより、当事業の売上高は4,351百万円（前年同期比22.0%増）、営業利益は272百万円（前年同期は213百万円の営業損失）となりました。

#### (産業機械関連)

売上については前期に引き続き堅調に推移いたしましたが、粉末冶金関連において、原材料価格の高騰などの影響により利益が減少いたしました。当事業の売上高は941百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は48百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

#### (エネルギー不動産関連)

原油価格上昇の影響により石油類の販売額が増加したため、当事業の売上高は1,823百万円（前年同期比31.9%増）と大きく増加いたしましたが、利益面では商業施設の運営費用が増加し、営業利益は118百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前年度末に積み上がった売掛金の回収を進め現預金が増加したほか、期初支払に伴う前払費用などの増加要因もあり、前連結会計年度末と比べ1,313百万円増加の85,038百万円となりました。

負債については、冬季賞与の引当を進めたため、前連結会計年度末と比べ328百万円増加の57,908百万円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したほか、為替換算調整勘定が大きく増加したことにより、前連結会計年度末と比べ984百万円増加の27,130百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日決算発表時に公表しました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,437	6,259
受取手形、売掛金及び契約資産	15,711	14,435
商品及び製品	6,760	7,044
仕掛品	4,286	4,461
原材料及び貯蔵品	5,062	4,787
その他	1,263	1,549
貸倒引当金	△20	△18
流動資産合計	37,500	38,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,470	6,498
機械装置及び運搬具（純額）	5,210	5,148
土地	18,194	18,199
建設仮勘定	317	366
その他（純額）	1,538	1,575
有形固定資産合計	31,732	31,787
無形固定資産		
	434	414
投資その他の資産		
投資有価証券	5,947	5,925
退職給付に係る資産	790	882
繰延税金資産	3,312	3,323
その他	4,087	4,284
貸倒引当金	△79	△99
投資その他の資産合計	14,058	14,316
固定資産合計	46,225	46,518
資産合計	83,725	85,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,435	11,966
短期借入金	5,377	5,855
未払費用	2,277	2,620
賞与引当金	911	1,308
その他	5,951	6,063
流動負債合計	26,953	27,815
固定負債		
長期借入金	19,844	19,423
再評価に係る繰延税金負債	3,922	3,922
退職給付に係る負債	4,254	4,242
その他	2,604	2,503
固定負債合計	30,625	30,093
負債合計	57,579	57,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	1,070	1,070
利益剰余金	13,566	13,987
自己株式	△283	△283
株主資本合計	15,352	15,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	791	747
繰延ヘッジ損益	1	5
土地再評価差額金	9,063	9,063
為替換算調整勘定	778	1,435
退職給付に係る調整累計額	△485	△465
その他の包括利益累計額合計	10,149	10,785
非支配株主持分	643	570
純資産合計	26,145	27,130
負債純資産合計	83,725	85,038

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	14,055	15,926
売上原価	11,412	12,408
売上総利益	2,643	3,518
販売費及び一般管理費	2,576	2,771
営業利益	67	746
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	88	99
為替差益	51	131
持分法による投資利益	25	39
その他	68	59
営業外収益合計	239	335
営業外費用		
支払利息	69	61
その他	67	58
営業外費用合計	137	120
経常利益	168	962
特別損失		
減損損失	9	8
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	10	8
税金等調整前四半期純利益	157	954
法人税等	86	280
四半期純利益	71	673
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△83	△72
親会社株主に帰属する四半期純利益	154	746

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	71	673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	362	△43
繰延ヘッジ損益	△14	3
為替換算調整勘定	463	476
退職給付に係る調整額	41	19
持分法適用会社に対する持分相当額	138	179
その他の包括利益合計	991	635
四半期包括利益	1,062	1,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,142	1,383
非支配株主に係る四半期包括利益	△80	△73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	6,150	2,033	3,566	922	1,382	14,055	—	14,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	74	0	21	145	263	△263	—
計	6,172	2,107	3,566	944	1,527	14,318	△263	14,055
セグメント利益又は セグメント損失(△)	315	△230	△213	65	130	67	—	67

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	6,385	2,424	4,351	941	1,823	15,926	—	15,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	98	69	0	24	197	390	△390	—
計	6,484	2,493	4,352	966	2,020	16,317	△390	15,926
セグメント利益又は セグメント損失(△)	485	△178	272	48	118	746	—	746

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。